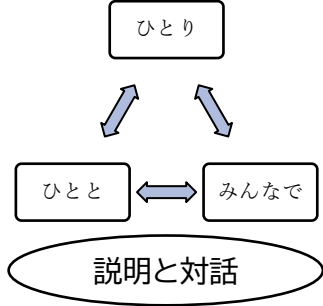


6年生算数の授業研。笠原先生をはじめ、6年生グループの先生方、お疲れさまでした。今回は、普段みなさんが「困っている」「悩んでいる」ことの多い「活用問題」を扱った授業で、今後の授業に取り入れるべき点や、さらなる工夫改善点がたくさん見つかるような魅力ある提案授業でした！全員で「共有」し、「だれでも」できる「短期目標」を提案していきます。

☆今回のポイント☆

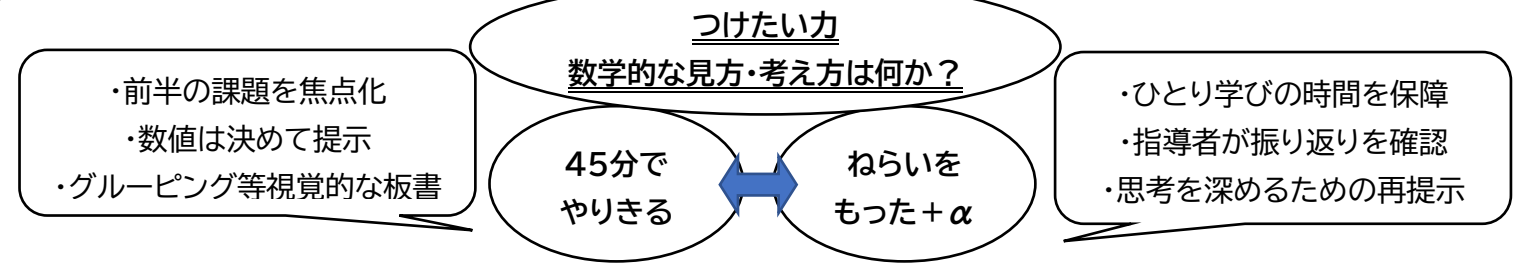
◎生活に活かす算数 活用問題の「ふり返し」で思考を深める！

学期に1回！活用問題を入れ、「ふり返し」を次の授業にいかそう！

	子どもの思考・授業の主な流れ
前半	教科書の問題からめあてを設定して解決する。 問題① 必然性のある 場面設定 。 ↓<気づき> めあて 子どもたちの思考の流れの中で めあて を設定する。 ↓<見通し> 自分の考え 見立てた体積の違いを 視覚的に教材提示 。 ↓ まとめ 見立てることの大切さ。
後半	問題② 活用場面の設定！ <グループワーク> ・考えを出し合う。 ・みなす立体・式を説明する。 ・最適解を考える。  ↓ 交流 (確認 水を使って容量を確かめる。)
ふりかえり	☆視点の提示 8点 (各自のカード)…文の書き出し例。 ☆授業の内容をつなげて考えているか。 ・自分の考えと友達の考えを比べて… ・どの考えでもいえること… ・どの考えが簡単か… ・身の回りの生活に活かして… <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ふり返し =ひとり学びの充実 ・時間保障 ・視点提示 ・内容 </div>

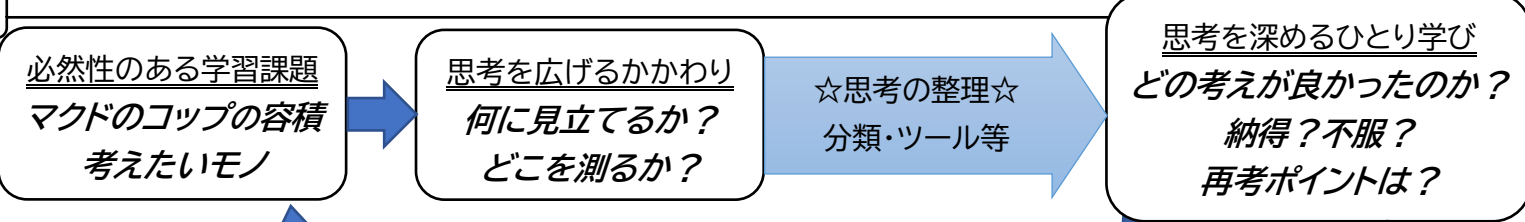
時間配分の検討(単元計画)

活用問題を扱う時に、1時間で完結させるか、振り返りの共有、再考の場面設定をするか計画する。



およその体積を測るために既習の立体に見立てること！

思考を深める「ひとり学び」へむかう授業の構造化



次時につなげる振り返りを抜粋
 「引くのはちがうんちゃう？」「上げ底に気づけばもっと近づいた。」
 「平均したのはなぜ？」「結局、どんな円柱と見立てた？」
 ①片方の底面をもとにした円柱。 ②大きい方から小さい方を引いた。
 ③円錐と見立てて3で割った。(未履修) ④平均を使って…

振り返りをいかし、見立てるといふ視点で再評価する。

◎こどもの「ふり返し」がどのようになれば、一人ひとりの深い学びにつながったといえるか。

今回の授業・ステキな小ネタ集

8つの書き出しカード 振り返りの視点の提示方法

- ◎高学年では、自分の手持ちカードとして。
- ◎他学年でも、内容を簡単にしたり減らしたりして活用可能。

実物で視覚的に提示

- ◎特に、図形領域では有効。学習室で教材として保存！

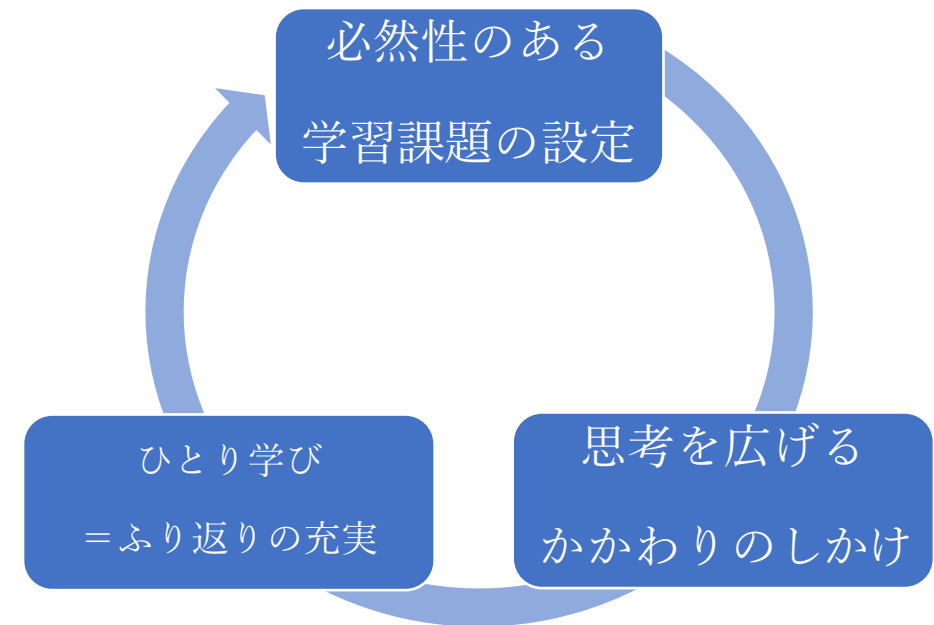
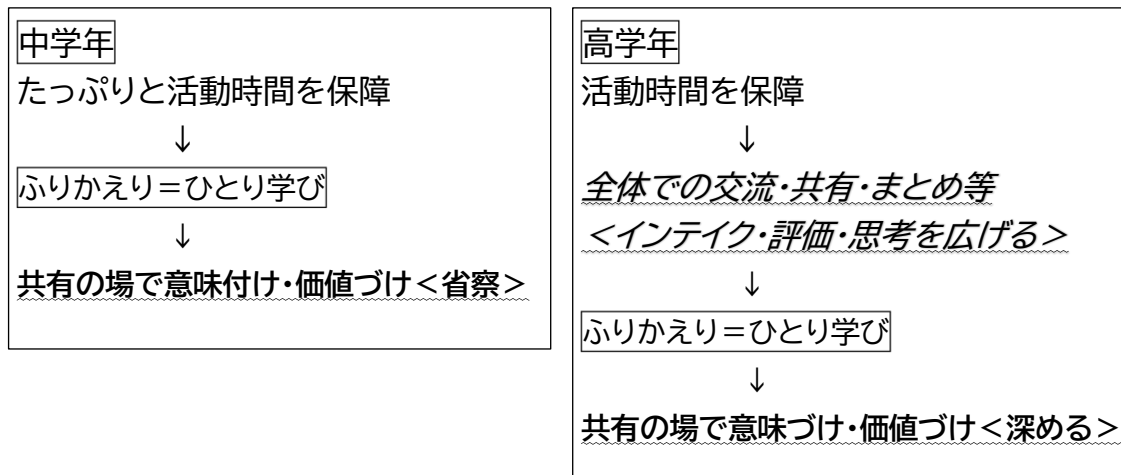
ホワイトボードでの交流

- ◎図と式とことばで説明することを大切に。
- ◎共通点や相違点が見え、グルーピングもしやすくなる。

「説明の仕方」の指導

- ◎話型の提示・表現方法の指示(図と式とことばで 等)

◎発達段階に合わせた「ふりかえり」場面の設定位置。



次回 校内研にむけて

11月12日(金) 6限 1年国語 (郷 学級)

- ① 指導案事前検討会(低ブロック) 10/25
- ② 参観の視点共有シート
- ③ 全員参観(直接)
- ④ 研究協議:低・中・高ブロックごとの分科会方式
司会:研究推進メンバーで分散
低:奥田 中: _____ 高: _____ 写真データ: _____
- ⑤ 講師による指導・講話(全員参加・ランチルームにて)
- ⑥ 研究推進だよりで共有